

彩の合気

第一回全国合気道指導者 研修会報告

A & P合気道大関道場
大関正美

10月15日から17日の3日間、日本武道研修センター(千葉県勝浦市)にて全国合気道指導者研修会が開催されました。研修会は公益財団法人日本武道館、公益財団法人合気会の主催で、「学校教育における合気道の指導法に関する実技と講義を行い、学校における合気道指導の充実を資する」という趣旨のものでした。参加者は中学校及び高等学校の保険体育科教員及び学校における部活動(合気道)の指導者と各都道府県合気道連盟からの代表者で約70名の方が集まりました。

研修会初日は、開講式に続いて植芝守央道主による講演「合気道とは」があり、合気道をあまり知らない学校の先生向けに合気道の歴史や理念について講義、模範演武をされました。私自身知らないことも多々あり、大変勉強となりました。その後、国際武道大学体育学部准教授の立木幸敏先生による講義「合気道の安全指導」があり、合気道を安全に指導する為の講義でした。主に脳しんとうについての講義で、脳しんとうはその症状が完全に無くならないうち、または無くなった直後に2度目の脳しんとうをおこすと、死亡率50%となるそうです。脳しんとうを起こした場合、即稽古を中止し医療機関(脳外科)を受診させて、稽古を1週間以上はさせないようにして下さいとのことでした。埼玉県合気道連盟としても講習会等を開催して、安全に関して広めて頂ければと思います。

発行/埼玉県合気道連盟

一日目は、合気道授業実践例報告として、実際に合気道を授業に取り入れている学校の先生方にお話を伺いました。合気道をできる先生が少ない中で、皆さんいろいろと工夫して授業をされているようです。

その後、合気会の植芝充央先生による中学校合気道指導法①「中学1年生の授業内容」があり、道場生とは違う学校の生徒向けの指導法を教わりました。基本から細かい説明があり、初心者指導する時の参考になりました。

午後には全国体育学習研究会会員の川城健先生による講義「学校体育における武道必修化に伴う合気道の教材化について」があり、柔道・剣道に比べて合気道が中学校の授業で採用されにくい現状や、どのような方向で合気道を中学校で教えていくかの講義でした。合気道を中学校の



研修会の様子

授業で教えていくには、認知度や、指導者がいないなどまだまだ問題が多いようです。

その後は合気会の鈴木俊雄先生による中学校合気道指導法②「中学2年生の授業内容」があり、3日目は、合気会の金澤威先生による中学校合気道指導法③「中学3年生の授業内容」がありました。ただし、中学校合気道指導法②③は、学校の先生方を対象に行われ、その時間に各都道府県連盟の代表者は都道府県連盟会議を行いました。

1回目の連盟会議は、全日本合気道連盟理事長の尾崎响先生が議長で行われ、「各団体が親睦をはかり、情報交換をして益々発展させていくことが連盟の役割」とお話があり、連盟の現状と規約について話し合いました。

2回目の連盟会議は、全日本合気道連盟常任理事の林典夫先生が議長で「中学校における武道必修化の現状と今後の取り組み方」について話し合いました。現在、全国で合気道を授業で採用している中学校は40校（全1400校）と、ほとんど採用されていないのが現状であり、各地域で合気道普及に努めてもらうことと、各都道府県連盟から県の教育委

員会や地元中学校に積極的に働きかけてもらいたいとのことです。

今回研修会に参加させて頂き、合気道が中学校の授業に採用されていない現状を知ってショックを受けました。これからは地元で今まで以上に合気道の普及に尽力していきたいと思えます。

事務局より
県連加盟団体の皆様にお渡しできる資料については、全日本合気道連盟より平成26年春を目途に準備中との連絡をいただいております。しばらくお待ちください。



研修会の様子

新 加盟道場紹介

【春日部市】 春日部合気道教室

春日部合気道教室は平成12年1月14日に設立準備会を開催し、本部道場師範のご助言を得ながら、市関係部署及び稽古場等の調整の後、平成12年6月11日に道場を開きました。合気会公認道場として春日部市民武道館道場及び庄和町体育館道場の二つの稽古場を軸として現在に至っています。

そもそも、当教室の発端は、経済産業省及び東京地方裁判所の両合気道部の師範であった山口金弥七段が当時春日部市在住だったところに、経済産業省合気道部代表の小谷一郎六段が同市へ転居したことから始まり、両合気道部員の日曜日及び休日の稽古場として機能すると共に、広く地域の方が参加できる団体とし

て設立し、活動してきました。本年、幸いにも埼玉県合気道連盟の総会で承認され、晴れて連盟の会員となることができました。

現在、特別会員である前記両団体の所属部員以外に、約30名強の会員が所属しています。稽古は日曜日・祝日を中心として朝9時から13時まで、初心者から高段者まで、就学前





の子供から還暦過ぎの方まで、力量に応じて稽古時間帯を選び、楽しんでいきます。当会の年中行事としては、本部道場の行事に参加する他、前記両団体と共に演武会、合宿、及び納会等を行っております。本年は裁判所合気道部50周年記念行事として、本部道場において、道主先生の指導稽古を両団体及び友好団体である国会合気会と一緒に受けることができました。また、経済産業合気道部30周年記念行事を来年に控え、企画の段階から参画し、当教室の第3

回韓国遠征合宿をも視野に入れつつ、目下今後の活動を検討中のごとろです。

当教室の特徴は、日曜日及び祝日の稽古が中心となるため、一般の部は、ビジネスマン、公務員あるいは公共機関に勤務する会員が多いといえます。少年部に関しては、指導者や会員の中に、現役教職員関係の方が多くいるからかもしれません。指導体制が充実しており、参加する大勢の子供達は、皆礼儀正しく、明るく元気に行動しているように見えます。

昨年までは、前記両団体が東京都合気道連盟に所属しているため、当教室も両団体に追隨して東京都連盟の行事に活動の基点を置いていましたところ、春日部市を含めた埼玉県東部地域の方の参画が増える中、本年の総会で会員として承認を頂きましたので、微力ながら、埼玉県合気道連盟に貢献させて頂きたいと存じます。何卒、会員の皆様よろしくお願い申し上げます。



【上福岡市】 合気道神明塾道場

合気道神明塾は、前塾長であり本部道場師範でもありました佐々木将人師範が開いた道場であります。

前塾長が、昭和五十二年フランス文化庁の招聘により人間性回復道場の神道・武道教授として渡仏から帰国した直後の同年九月朔日に地域の要望により、自宅近くの若草会館の二階の道場から始まりました。

その後、昭和五十八年には、山蔭基央先生との神縁により自宅を山蔭神道上福岡斎宮に改築し、次いで平成三年には、自宅を新築し一階を合気道道場兼神殿に致しました。また、名称を「神明塾」に改め、稽古が再スタートし今日に至っております。

小生は、小学校より合気道を行い、伊勢の皇學館高校進学から大学院修了まで元本部道場師範でもございました神武館館長故岩垣茂則師範と里中香司師範に師事しました。

帰郷後は当道場で前塾長指導の下、稽古に励み現在塾長を継いでおります。

当道場の玄関には「却下照顧」という格言板があり、「履物を揃える」と



心も揃う」と教えています。先ず自分の履物を必ず揃えさせます。

それは、毎日見慣れた玄関で、家族を思いやる心や美的感覚、整理整頓能力が育くまれ、美しいものを見たり聞いたり学んだ時、素直に感激感動する心に繋がっていると思います。

『心が変われば 行動が変わる。行動が変われば 習慣が変わる。習慣が変われば 人格が変わる。人格が変われば 運命が変わる。』
というヒンズー教の如く変わっていく



くと思います。

当道場の稽古は先ず、呼吸法から始まります。吐く時は悪いものが全て出て行くと思いつつながら、吸う時は有り難い感謝の心で数回行います。そしてその呼吸法の深さを体現させます。

また『躰の三原則 一、朝の挨拶
一、ハイという返事 一、後始末』
や格言を大きな声で、稽古をしめくります。声に出して言う事により、潜在意識に入っていく深層心理に残ります。

合気道の所作も重要ですが、「教えることは学ぶことである」との諺

通り、指導者も含めて稽古を通じ切磋琢磨しています。

前塾長が常々、「武道の極意は姿勢と間合い」申しており、合気道そのものが日常生活全般の立ち振る舞いであるという教えを実践すべく努力したいと存じます。

また微力ではございますが、連盟活動に参加し、前塾長の「明るくなければ合気じゃない笑えー」をモットーに合気道界に貢献させて戴きたいと存じます。

諸先輩方のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

神明塾塾長
佐々木望鳳馨

【川口市】

西川口合気道クラブ

川口市民に親しまれている、青木公園の一角にある「川口市体育武道センター」の柔道場を稽古場に、週3回月、水、金の夜7時〜9時に稽古をおこなっており、特に金曜日は子供

クラスも加わり賑やかな稽古風景になります。

地域団体としての発足は早く、昭和45年6月に川口市が主催した「合気道教室」の終了者が中心となり、名称を「川口合気会」として発足しました。

この合気道教室は行政(川口市)が主宰したものであるが、全国初であったということも先輩方に聞いており、(財)合気会より藤田昌武師範の指導により実施されました。その後「川口合気会」は数年間にわたり藤田師範の指導を仰ぎ多くの有段者が輩立っていったところです。

現在は名称を「西川口合気道クラブ」に変更し、会員数は40名ほどです。稽古内容は、週3回の大人コー



スト週一回の子供コースがあり、指導は会員の有段者が曜日を決めて行っております。また年2回の昇級・昇段審査も実施しております。

会員構成としては、大人コースは中学1年生〜70代、特に最近、女性の会員が増え全体の1/3弱となり、女性のレベルも年々高くなってきている現状で喜ばしい限りです。

子供コースは小学1年生〜6年生を対象とし、現在14名です。子供の男女比率は丁度半々で、昇級審査に合格した後の帯の色(初級の白から黄、オレンジ、青、紫、茶)が変わるのを楽しみに稽古に励んでいる様子です。

道場環境は天井の高い、周囲が板敷きに囲まれた、畳だけでも200畳という贅沢な広さがあるため、受身の練習が十分にでき、初心者でも子供でも、比較的早い段階で受身が上達するのが特徴の一つと言えるかもしれません。

西川口合気道クラブ会長
松村義信

【比企郡川島町】 合気道川島町同好会

合気道川島町同好会は、平成16年5月1日に当時82歳の故大谷一枝師範(八段位)が川島町公民館行事の一環として立ち上げられた合気道教室に産声を上げました。師範は、調布市合気道連盟を設立され東京都合気道連盟理事長も務められ、また武道功労賞も受賞されました。大らかで優しく包容力に満ち溢れておられ、慕わずには居られない大谷師範は、子供達をととも大切にしておられました。92歳で引退をするまで自ら子供達はじめ稽古生の手を取り、指導育成に力を注がれていました。5月5



日の子供の日に93歳の合気道人生を閉じられたのも忘れようのない必然だったという思いがします。

まだ悲しみは癒えてはいませんが、大谷師範の思いを継いで日々稽古に励んでおります。

また、大谷師範の望んでおられた埼玉県合気道連盟へ加盟させていただく事ができ、感謝の思いでいっぱいです。

大谷師範から稽古や直会等で御指導頂いたことをしっかりと次代につたえることが、本会の基本理念と考えております。

稽古のモットーとしまして、
・常に感謝の気持ち、謙虚な姿勢で相手に接する。

・自分本位の考えは捨て、自己犠牲の精神を持つ。(師範は、おれがおれが

という考えはだめだと常々仰っておられました。)

・目下の者を大切に守り育てる。
・基本を大切に正しい技を正しく伝える。

【稽古内容】

前後受身、膝行を含め約15分間の準備体操。基本技を中心に初心者から有段者まで一緒に稽古し、座り技呼吸法で稽古を締めくくります。上の者は下の者に基本を正しく教える事を学び、下の者は合気道の楽しさを知る。

そんな心の触れ合いを大切に稽古しております。



【越谷市】 合気道増田道場

合気道増田道場の前身は平成5年4月に設立された合気道小林道場支部、南越谷道場です。平成22年より、道場開設以来指導を担当していた増田学が、南越谷道場新道場長となり合気道増田道場として新たなスタートを切りました。そして本年6月、埼玉県合気道連盟の総会に於いて正式に加盟を認可され、会員一同大変喜んでおります。

開設当初道場はJR南越谷駅より徒歩15分程の事務所の一室を借り、スタートしました。しかし2年程してバブルの崩壊のおおりに受け、事務所の入る建物が差し押さえられ、急遽新しい道場への移動を余儀なくされました。

「とりあえず」のつもりで借りた次の道場は、倉庫用のプレハブを改造したものでした。そのため夏は外より暑く冬は外より寒い過酷な環境の中、会員の方々は我慢強く稽古を続けてきました。

結局「とりあえず」が15年続き、やっと平成22年10月に現在の専門道場で稽古を開始する事が出来ました。



現在の会員数は中学生以上の一般クラス
の会員が40名、幼稚園、小学生の子
供クラスの会員が20名の計60名程で
す。稽古は一般クラスが火・木・土・
日で6回(木・土は1日2回)子供クラ
スが火・木・日で3回行っています。
専門道場の為かなり自由に稽古が出
来るのが利点です。

子供クラスの稽古は基本技と受身
を中心に行っています。特に近頃は転
んでも手で体を守る事が出来ず、顔
から落ちる子も多くいるそうで、受
身の練習には多くの時間をかけていま
す。また、大きな声で挨拶をする、靴



や着替えたものを整理する等、日常生
活における礼儀作法の指導も行ってお
ります。

一般クラスの稽古は基本技を中心
に、怪我無く楽しく合気道の技を身
につける事を目標に頑張っています。
また、日本各地で合宿を行ったり、海
外からの合気道修行者を受け入れ一緒
に稽古をしたりといった活動も行っ
ています。

これからも地域に密着し、合気道
を通して心と体を鍛えていきたいと思
います。今後とも合気道増田道場をよ
ろしくお願い致します。

合気道増田道場 代表者
増田学

【入間市】 合気道明心会

合気道明心会は、当初池田昌富師
範が東京都板橋区で始められ、池田
師範が合気会の要請でスイスに指導
に行くことになったのを機に、亀井
格一師範が後任として指導を行って
きました。その後、亀井師範のご自
宅のある入間市に道場を移し、現在
に至っています。

そして現在は、スイスから戻られ
た池田師範にもご指導をいただい
ております。



稽古クラスは少年と大人があり、
水、金、日曜日に入間市鍵山の武道
館で地道にこつこつと技の研鑽に励
んでおります。また多田宏師範の研
修会や多田塾の合宿にも積極的に参
加しております。



最近では、志木合気会から毎週数
名が稽古に参加し、また池田師範の
ご縁で、遠くスイスからも年に数回
生徒がみえられ、国際色豊かに和気
藹藹と稽古に励んでおります。

日頃より亀井師範の指導の根本に
ある謙虚な心を保つことの大切さを
心に刻み、これからも合気道の稽古
に取り組んでいく所存です。

佐藤美知雄

◇◇◇ 平成 26 年度 埼玉県合気道連盟 行事予定 ◇◇◇

● 平成 26 年度 第 1 回常任理事会

日時：平成 26 年 1 月 26 日(日)午後 6 時 00 分～午後 7 時 15 分

場所：にいざほっとぷらざ 5 階 会議室

懇親会：土風炉 志木店 午後 7 時 30 分～

● 平成 26 年度 第 2 回常任理事会

日時：平成 26 年 3 月 9 日(日)午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分

場所：フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ 8 階 会議室

懇親会：場所未定 午後 5 時 30 分～

● 第 29 回埼玉県少年少女合気道錬成大会

日時：平成 26 年 4 月 13 日(日)午後 1 時 00 分～午後 3 時 00 分

場所：さいたま市大宮武道館

主管道場：合気道大宮道場

● 平成 26 年度 定例理事会

日時：平成 26 年 4 月 20 日(日)午後 3 時 30 分～午後 5 時 00 分

場所：フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ 8 階 ホール

懇親会：場所未定 午後 5 時 30 分～

● 平成 26 年度 定期総会

日時：平成 26 年 6 月 1 日(日)午後 3 時 30 分～午後 5 時 00 分

場所：さいたま市民会館うらわ(予定)

懇親会：buffet レストラン「ミケーラ」(予定) 午後 5 時 30 分～

● 第 32 回埼玉県合気道連盟合同講習会

日時：平成 26 年 7 月 6 日(日)午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分

場所：さいたま市記念総合体育館 武道場(予定)

主管道場：浦和合気会

指導：未定

懇親会：場所未定 午後 5 時 30 分～

※予定は変更になる場合がございます

彩のなでしこ

N A D E S H I K O

合気道との出会いとこれから

人間幸武館道場 和田祥子

私が合気道と出会ったのは、大学の部活動でした。当時ぼんやりと何か武道をやってみたいと思っていて、新入生歓迎の演武を見て動きの美しさと女性の袴姿に惹かれて入部を決めました。

入部してからの4年間はほぼ合気道の毎日で、きつい時もありましたが、合気道の稽古を通して大学時代の楽しく充実した日々を仲間と共に過ごせたと思っています。

卒業してからの数年間は、仕事の時間が不規則だったこともあり合気道とは少し離れていました。結婚して入



間に来た時、市報で体験教室の告知を見て幸いにも近くに幸武館道場があることを知り、また稽古を再開することができました。とても嬉しかった事を覚えています。

それから2年ほどして子供ができたため、また数年離れていましたが、最近下の子も手がかからなくなってきて、今年は幸武館道場も四十周年記念を迎えるということとで復帰することにしました。

そして先日は大学時代の師範が就任二十五周年目ということで現役生、卒業生が集まり本部道場で記念稽古を行いました。随分前に卒業したにも関わらず、師範も私のことを覚えていてくださり、学生時代のようにとはいきませんでした。当時の仲間とまた稽古ができたことを嬉しく思いました。一度体に染み込んだ合気道の動きはブランクがあっても体が覚えているものだと感じ、合気道は私の人生でとても重要で大きな位置を占めていると実感することもできました。

今は上の子が幸武館道場の少年部に入部しており、一年経ってようやく少し形も出来てきました。なんとか本人なりに頑張っているようです。

数年後は、下の子も入部させて親子三人で合気道を続けていければ幸せだと思っています。

「彩の合気」への 投稿をお待ちしています。

- 道場行事報告／原稿 1,000 文字、写真 2 点
 - 彩のなでしこ／合気道への想いを原稿 800 文字、写真 1 点
- ※画像はプリント写真もしくは写真 1 点あたり 2MB 以上のデータをお願いします。画像解像度が低いと印刷に適応いたしません。
(プリント写真はご返却いたします。)

登録メールアドレス変更の際は 必ず事務局までご連絡ください。

連盟情報を伝達する手段としてご登録いただいております加盟団体の登録メールアドレスですが、アドレスに変更が出た場合は速やかにご連絡をお願いいたします。特に下記の 2 例は、変更の連絡が忘れがちになりますのでご注意ください。

- 登録が携帯アドレスの場合、利用携帯電話会社変更があったとき。
- プロバイダーの変更を行ったとき。

「彩の合気」応募、登録アドレスの変更は下記まで

〒352-0011 埼玉県新座市野火止 5-4-26

埼玉県合気道連盟事務局 佐々木淳一

メールアドレス sasaki.junichi@jcom.home.ne.jp

※このコーナーでは県内の女性合気道家をご紹介します。
自薦・他薦を問いませんので各道場よりのご応募をお待ちしております。